

高校卒業間際の大学進学予定者、大学での受講科目の大半は  
従来型の対面式講座での受講を希望 (2月17日)

大学進学標準試験を提供する ACT とコンサルティング会社のアート&サイエンス・グループ (Art & Science Group) は、2015 年秋学期から 4 年制大学進学予定で、2014 年秋の ACT 試験受験者を対象として 2015 年 2 月に実施した調査結果「学生世論調査 (studentPOLL)」を発表した。これによると、回答者の 85% は、大学での受講科目の大半を従来型の対面式講座で受講したいとし、受講科目の半分・大半・全部をオンライン講座で受講しても構わないと回答したのは全体の 6% のみであったことが明らかにされた。また、自分が少数のオンライン講座を受講する姿を想像できると回答したのは全体の 37% で、約 9% はまだ決めていないと回答した。これは、間もなく高校を卒業する大学進学予定者と社会人学生との間で見られる大きな違いで、社会人学生の間ではオンライン講座のニーズが高まっており、連邦高等教育在籍データによると、学生の 7 人に 1 人はオンライン講座のみを受講しており、オンライン講座を少なくとも 1 科目受講する学生は全体の 25% 以上とのことである。

なお、studentPOLL の結果詳細は、<<http://www.artsci.com/studentpoll/2016/February/index.aspx>>から閲覧可能。

Inside Higher ED, Remaining Residential

<https://www.insidehighered.com/news/2016/02/17/study-suggests-high-school-students-hold-negative-views-online-education>